

授業科目名	小児看護学実習	担当教員名	准教授 秋鹿都子 学内講師 木村真司
開講年次及び学期	3年 全期	必修・選択の別	必修
開講形態	実習	時間数	90
		単位数	2
<b>授業概要</b>			
<p>保育所実習と病棟実習を通して疾患や障がいを持つ子どもを全人的に理解し、子どもとその家族に必要な看護を、個々の成長・発達や健康状態に応じて考え、論理的根拠のもとに実践するための基礎的能力と態度を養う。</p>			
<b>G I O (教育目標)</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疾患や障がいをもつ子どもおよび家族と、援助的人間関係を築く。</li> <li>2. 疾患や障がい、入院が子どもと家族に及ぼす影響をふまえ、健康レベルに応じた適切な看護を計画的に実践する。</li> <li>3. 子どもと家族が質の高い生活を送ることができるよう、医療、教育、保健、福祉等の多職種が連携・協働することの重要性と、その中での看護師の役割について理解する。</li> <li>4. 子どもと家族への看護実践を通して看護学生としての責任を自覚し、倫理性を高める。</li> </ol>			
<b>S B O (到達目標)</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもを一人の人間として尊重し、発達段階に応じたコミュニケーションをとることができる</li> <li>2. 子どもおよび家族と援助的人間関係を築くことができる</li> <li>3. 子どもの疾患、検査、治療について理解できる。</li> <li>4. 子どもの身体的影響について、小児看護技術を用いて観察、測定し、意図的に情報を得ることができる</li> <li>5. 子どもと家族の心理・社会的影響について、発達段階、疾患や障がいの状態、入院、家族関係などをふまえ、意図的に情報を得ることができる</li> <li>6. 子ども、家族の入院前、退院後の生活について情報を得ることができる</li> <li>7. 子ども、家族の情報（主観的・客観的）をもとに、論理的根拠をもってアセスメントできる</li> <li>8. アセスメントをもとに看護関連図を描き、看護上の問題を特定（抽出・統合）できる</li> <li>9. 看護上の問題に対する目標を明確にし、発達段階や疾患の状態、入院環境、生活リズムなどを考慮した個別性のある看護計画を具体的に立案できる</li> <li>10. 立案した看護計画を子どもの状態にあわせて安全、安楽に実施するための準備（ケアの事前練習、戦略的な行動計画等）を行うことができる</li> <li>11. 立案した看護計画（行動計画）を子どもの状態にあわせて安全（十分な事故防止への配慮）、安楽に実施することができる</li> <li>12. ケアの実施時は、事前に子どもと家族に説明し、同意を得ることができる</li> <li>13. 実施した看護の評価を行い、必要に応じて看護計画を修正できる</li> <li>14. 多職種による支援に参加し、医療、教育、保健、福祉における望ましい連携・協働について考えることができる</li> <li>15. 保健医療チームの一員として、子どもと家族の生活やニーズに添った退院支援を実施できる</li> <li>16. グループカンファレンスにおいて自己の学びや考えを共有するために、積極的に発言することができる</li> <li>17. 情報管理を確実にし、個人情報保護につとめることができる。</li> <li>18. 教員や指導者に適切に報告・連絡・相談することができる</li> <li>19. 積極的な挨拶や適切な言葉使い、身なり、態度で実習し、無断で遅刻や欠席をせず、集合時間や提出物の期限を守ることができる</li> <li>20. 看護者としての自己を評価し、課題を具体的に述べるができる。</li> </ol>			
<b>成績評価の方法</b>			
<p>実習への取り組み、実習態度、実習記録の提出状況、記録内容、カンファレンスへの参加状況により総合的に判定する。</p>			
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>			
<p>実習中に適宜示す。</p>			

## 授業計画

### 1. 保育所実習（詳細は「臨地実習の手引き」を参照）

#### 1) 実習期間・時間

- ①実習期間……2日間
- ②実習時間……8時30分～16時30分

#### 2) 実習施設・場所

出雲市内保育所（別紙参照）

#### 3) 実習形態

原則として学生1名が0～5歳児クラスのいずれかに入り実習を行う。

#### 4) 事前学習

各年齢の子どもの成長・発達の特徴と基本的な生活習慣の獲得を促す技術について学習する。

### 2. 病棟実習（詳細は「臨地実習の手引き」を参照）

#### 1) 実習期間・時間

- ①実習期間……2週間
- ②実習時間……8時30分～16時30分

#### 2) 実習施設・場所

- ①臨床：島根大学医学部附属病院 C病棟6階（小児センター病棟）
- ②学内：看護学科棟3階プレイルーム、資料室

#### 3) 実習形態

原則として小児期にある患者1名を受け持ち、問題解決過程に沿って実習を行う。

#### 4) 受け持ちの子ども

- ①看護師長（臨床実習指導者）と担当教員が相談し、受け持ちの子どもを選定する
- ②ICU入室が必要な手術を受ける子どもや、ターミナル、急変の可能性が高い子どもは原則として受け持たない。
- ③受け持ちの子どもの退院や病状の著しい悪化により受け持ち継続が困難になった場合は、変更することがある。
- ④受け持ち予定の子どもの情報は実習初日のオリエンテーション時に紹介する。

#### 5) 事前学習

- ①実習を展開する上で必要な病態、検査、治療、小児看護技術、子どもの成長発達、看護過程等について学習しておく。
- ②受け持ち予定の子どもの情報をもとに自己紹介用の名刺（A4程度の大きさ）を作成する。

### 6) 実習内容

		8:30～			15:00	15:30	～16:30
第1週	月	保育所実習の振替日			オリエンテーション		
	火	受持ちの子どもの紹介 病棟実習(情報収集、情報整理、アセスメント)	休憩	病棟実習	カンファレンス	記録整理	
	水	病棟実習(同上)	休憩	病棟実習	カンファレンス	記録整理	
	木	病棟実習(同上)	休憩	病棟実習	保育所実習の振替日		
	金	病棟実習(アセスメント、看護計画立案)	休憩	学内：看護関連図・看護計画発表			
第2週	月	病棟実習(看護計画の実施、評価、修正)	休憩	病棟実習	カンファレンス	記録整理	
	火	病棟実習(同上)	休憩	病棟実習	カンファレンス	記録整理	
	水	病棟実習(同上)	休憩	病棟実習	カンファレンス	記録整理	
	木	病棟実習(同上)	休憩	病棟実習	実習のまとめ 15:00～16:00	片付け	
	金	保育所実習の振替日					